

「ごめんなさい」を言うまで

岩手県 一関第一高等学校附属中学校 三年

田中 巳里たなか みり

私は 母の顔を見ることができず

ただ うつむいて喋らなかつた

母は 私を見つめていて

ただ 私が話すのを待っていた

罪悪感とか 後ろめたさとかが

私の心を縛っている

振りほどくには勇気がいるけれど

母は 私がそうすることを待っている

うつむいたまま 口を開いて

「ごめんなさい」

はつきりとしなない 小さな呟き声で

ぽつりぽつりと 言葉をこぼし始める

母は聞き終えて 私に言った

「正直に話してくれてありがとう」

私は 母の顔を見た

私の色んな気持ちを理解して

まず最初にありがとうと言った 母を見た

母は 私を見つめていて

ただ 私に笑顔をくれた